

たけやぶ

2010.12.2.
自主学童保育ささのはクラブ

ささのはの子たちの自然とのつき合い方

都会の中でも自然に恵まれた野川地域。その中にあるプレイパークは、直接自然と関わりながら遊ぶ大切な場所。ささのはの子たちは、生き物大好きな人もいっぱいいるし、外を走り回ったり、泥んこになって遊ぶのが大好きなみんなです。自然との関わり方の世界を少し広げるき、かけも作りたいたいと思っています。

サケの卵を飼っています。

10月の末に、授精卵をもらって来て(川崎までサケを生きたまま運んで来て、人工授精させた卵をもらって来ました)1ヶ月たちました。今年は夏の暑過ぎた気候が影響してか、親サケが卵を産みに川を上って来るのが遅かったようで、お刺卵の状態が良くなかったとのこと。去年までに比べてもらった数も少なく、途中で死んでしまった卵も多かったのですが、追加で他のところから、もう少しもらって来ました。その卵たちにポップと黒い目ができて、ヒョロンとしっぽが出、赤ちゃんと生まれて来っています。川底の暗い環境と同じになるように暗くしてある水槽を覗いては「あ、赤ちゃんだ！」と毎日見えています。魚の赤ちゃんってどんな姿をしているのか、どんな風に大きくなって行くのが楽しみに見られたらいいなと思います。サケは冷たい水で育つ魚なので、水温が18℃以上になると危ないから、水温を入れたらして頑張っています。

空を見上げて

★ISS(国際宇宙ステーション)を2回見ました。
日本人の宇宙飛行士も乗り込んだ、宇宙ステーションが、夕方と明け方、星のように輝いて見えます。インターネットで、このあたりでは何日の何時頃見ると情報が出ています。地上ではもう暗い時間でも、上空では太陽の光に照らされて動いて行くのが見えます。ちょっとみんなのいる時間の5時過ぎに見えるはずの日にこの前庭に出て見ていたら、予定の時間より少し遅れてスーッと上がる様に明るく輝きながら飛んで行きました。「あの輝いている中に人が居るんだネー」と感激。なんだか宇宙が身近に感じられたようです。
★日暮れが早く、夜明けが遅いこの時期星を見る機会が多くなります。文化センターからの帰り道「今日満月かな?」とか「あの星、すごく明るいわ、何という星?」とか上級生達が星座の話や惑星の話をして、いるのをじっと聞いている低学年の人達です。

基地作り — 木の影の奥の方 —

秘密基地なので「ヒミツ、ヒミツ、これはヒミツ...」なのですが、何となく動きから察したり、(指)の特権で「ちょっぴり押さえるの手伝って」と頼まれたり...。いつの時代も子どもが一度は、はまる遊びのようですね。きれいに整えた所(ここだけみんなきれいな好き!)に横たわって、石に当たって「イテテ」とさらに整備をしたり。そこから見える(そんなかくれがだから外からは見えずに見えなかった) 外の世界に思わす注目したり(中学生の男の子と女の子が公園でしゃべっていた) 非日常の時間を楽しんでいるようです。

落葉

今、プレイパークは落葉がいっぱいです。落葉をいっぱい集めて、かけ合ったり、山にして上にのるとフワフワ、中にもぐると暖かいし、かくれがにもなる。そして、ボール遊びをする時に水たまりをうめる貴重な材料にもなります。季節と共に経験できる自然の恵みですね。

けん玉練習風景

けん玉の練習に本格的に取り組まれました。みんなが少しずつやるように、毎日1分ずつ練習時間を伸ばす事にして、今日(12/2)は36分です。このまま、土日とも1分ずつ増やして行くと、けん玉大会の前日には60分になるそうです。ヒエ〜! 1分とはバカにできないと改めて実感。でもうかつにも短めた時間を忘れて「あと何分?」、聞く相手が間違えるよね。(指)は物ト多めに「エーっとあと28分だネ」「エーッ! まだこれしか経ってないの?」「えっ、時間てまだかな?と思っと長く感じるのヨ」

ささのはの家の隣の竹やぶ

8月の引越しの時にお父さん達にう、そうして竹やぶのささのはの家裏りを間伐してもらいましたか。その後引き籠り「美しい竹林」「子どもが竹の子掘りができる林」を見せして、ハハハが休みのたびに整備してくれています。ささのはの家の1階も日がさし込むようになり、「へー竹だけじゃなくて、大木もあるきれいな林だ、たんたね」と思える位見通しが良くなりつつあります。本当にありがとうございます。

お知らせ

★ささのはサタさん
やっ! サタさんに連絡がとれました。忙しいサタさんだからネ、予定に入れてください。12/22(水) 5:00過ぎごろに来てくれるそうです。詳しくは後ほどお知らせします。

さびしいお知らせ
4年生のくんか
11月いっぱい退室しました。スポーツに勉強にと忙しくなったとのこと... お姉さんのちゃんが入った、2才の頃からのお付き合いでした。こんなに大きくなっちゃって!! お父さんにもお母さんにもいっぱいお世